

議会活動

学校適正化配置調査特別委員会 視察研修

学校適正化配置調査特別委員会では、去る8月29日から30日の2日間、学校適正化配置の先進事例地である栃木県那須郡那須町教育委員会及び茨城県鉦田市教育委員会並びに行方市の「なめがたファーマーズビレッジ」を研修視察しました。

研修地である那須町及び鉦田市において、学校の統廃合を検討するうえで共通していた問題は、少子化による小学校の複式学級化、中学校における学年単学級校の増加であり、中学校においては各部署活動の存続にまで波及しております。

もう1つの問題点は、老朽化した建物の改修や耐震化の必要性であり、現状の施設を全て維持していくことは、財政運営に大きな負担となることが懸念されたこととでありました。

これらの諸問題を受け、那須町では平成19年1月に「那須町学校適正配置等検討委員会」が

設置され、翌年4月には「那須町学校適正配置等計画策定委員会」を設置・検討し、地域住民や保護者の方々からの意見や要望を十分に反映させ、計画を策定し公表したとのこととあります。



那須町役場

鉦田市においても、平成20年12月に「鉦田市学校教育施策検討委員会」を設置し、翌年12月には「鉦田市公立学校施設適正配置計画策定委員会」が設置され、この委員会において取りまとめられた答申が市へと提出され、この答申を踏まえ鉦田市として「鉦田市学校再編計画」を策定し進められたとのこととあります。

両市町とも、学校の適正化配置を検討するうえで、各学校の歴史と伝統、地域の方々の学校への思い入れや、コミュニティーとしての役割等を考慮しながら、次代を

担う子供たちに、より良い教育環境を構築することを最優先に、協議を進めたとのこととありました。30日午後には、行方市において学校跡地を有効活用し運営されている「なめがたファーマーズビレッジ」を視察してきました。この施設は主に、行方市で生産されたさつまいもの加工処理を行っています。一般の方も見学や体験学習ができるよう校舎を改装してあることから、年間大勢の来場者で賑わっているとのこととありました。

今後も、境町における各校区の歴史や地域との関係を考慮しながら、児童生徒のより良い教育環境や学習環境、人間関係の構築など、様々な観点から学校の適正化配置に向け検討を進め、当委員会から町へ提言する考えであります。



なめがた
ファーマーズビレッジ

友好交流都市調印式

佐賀県みやき町と境町の友好交流都市協定調印式が、去る9月26日みやき町において執り行われました。

両町は、昨年10月からPFI事業やふるさと納税推進事業について、互いに視察研修を行うなど交流を深めてまいりました。

地方創生が叫ばれている今だからこそ、相互理解と友情・信頼関係をより一層強化することにより、多方面にわたり先進的な取り組みを行っている両町の発展を促進するため、みやき町長・境町長による【友好交流都市協定】の調印がされました。



みやき町と境町の調印式